

文化の道

日本の近代洋画を育んだ郷土の偉人たちの作品やピカソやモネといった世界の巨匠たちの名画を鑑賞できる市立美術館をはじめ、向田邦子や海音寺潮五郎など鹿児島にゆかりのある作家やその作品を紹介したかごしま近代文学館・メルヘン館など、歴史と文化の道周辺には、文化施設も集積しています。

鹿児島市立美術館

鹿児島出身の黒田清輝や藤島武二、和田英作をはじめ、版画の橋口五葉、彫刻の安藤照など郷土作家の作品に加え、モネやルノアール、ピカソなどの西洋美術の名品を含めた収蔵品は全国でも屈指のものです。

学芸員に聞きました



安永 めぐみ さん
(市立美術館学芸員)

鹿児島は日本の近代洋画の発展に貢献した作家を多く輩出しています。これは美術の歴史においても鹿児島の誇れるところです。そんな作家たちの作品はも

ちろん、モネやピカソ、カンディンスキーなどの画家やロダン、ムーアなどの彫刻家の作品などを展示しています。いつでも身近にアートに触れられる場所です。ぜひ気軽に足をお運びください。

美術館の裏側をのぞいてみよう！

収蔵品は約3300点。

鹿児島ゆかりの作家たちの作品はもちろん、世界的に有名な彫刻家や画家たちの作品も収蔵、保存、管理しています。

常設展示の作品は、収蔵品の中から定期的に展示替えを行っているので、足を運ぶ回数が多ければ多いほど、さまざまな作品に出会えます。



▲収蔵庫の1つ



貴重な美術品の管理には一定の温度と湿度が大事(温度は22～24℃、湿度は55%前後)。デリケートな作品を維持管理するため、館内の空調はコントロール室で一斉管理しています。

停電のときに備えて蓄電も行っています。

大きな企画展を年間2回ほど行います。

規模の大きなものになると数年前から準備に取り掛かることもあります。

学芸員4人で各企画の立案、準備、会場の設営まで行います。



▲多くの書籍が並ぶ資料室

かごしまメルヘン館では、トリックアートやミニアスレチックなどで、遊びながらお話の世界を体験できます。

絵本の読み聞かせやワークショップなど親子で楽しめるイベントも開催しています。



黒田清輝(1866-1924)

慶応2(1866)年、東千石町に生まれた清輝は、法律家を志して渡仏しながら、絵に興味を抱くようになり、文化の重要性や自らの資質の認識から画家へ志望を転向。

帰国後は東京美術学校の西洋画科教授となり学生の指導にあたりとともに、国民美術協会初代会頭や帝国美術院長などを務めるなど、我が国の明治・大正の洋画界の巨匠と言われました。



市の文化財に指定されている黒田清輝の「アトリエ」



藤島武二
「桜狩(習作)」



和田英作「赤い燐寸」

かごしま近代文学館 かごしまメルヘン館

かごしま近代文学館では、向田邦子や海音寺潮五郎、林芙美子、棕鳩十、梅崎春生、島尾敏雄など鹿児島ゆかりの28人の作家や鹿児島を舞台にした作品を多面的に紹介しています。



作家たちの息吹が感じられる数々の展示品





光 鹿 児 島 を 支 え る 人 々

に木曾川の治水工事にまつわる歴史の話

が「こんな所にあつたんだ〜」とおどろか
たくさんの歴史の足跡が残されています。
をしてもらいたいです。

鹿児島島のシンボルである西郷銅像をはじめ、多くの歴史・文化施設が集積した歴史と文化の道は、鹿児島を訪れる観光客が必ずと言っていいほど訪れる場所の一つです。

まさに観光鹿児島島の“顔”とも言えるこの道では、多くの市民の皆さんが、それぞれの言葉で鹿児島島の魅力を伝えています。



かごしまボランティアガイド(観光地ガイド)
小田原^{しげとし}殷俊さん(左)と藤村加代子さん(右)



西郷隆盛にまつわるとっておきの
エピソードや、西郷隆盛像とのあつと
おどろく写真の撮り方などを楽しく
語るボランティアガイドの皆さん



薩摩の歴史ナビゲーター！ まち歩きで鹿児島島の歴史を伝える “鹿児島ぶらりまち歩き♪”



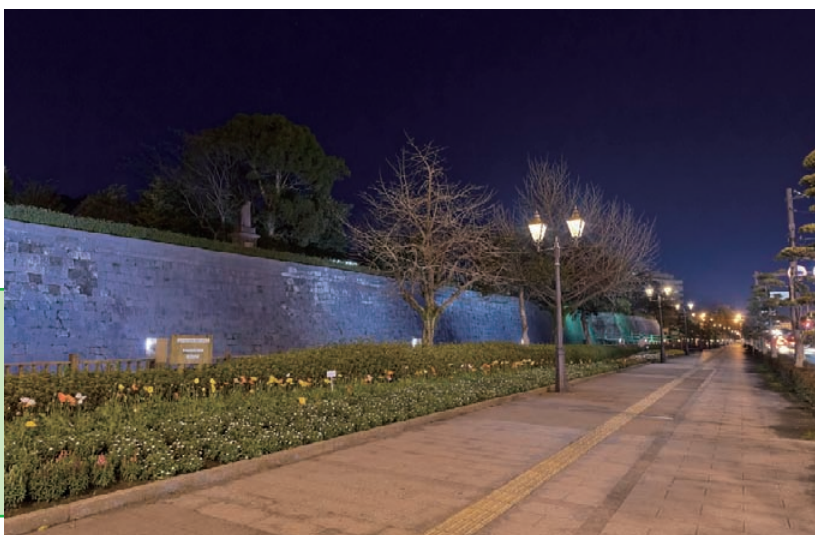
かごしまボランティアガイド(まち歩きガイド)
鈴木喜子さん(左)と芝絹子さん(右)

鹿児島はいたるところに歴史を語る場所があって、そのことを話すことや知ることが楽しいです。歩きながら昔のことを想像してもらえると嬉しいですね。観光客だけでなく鹿児島の人も一緒に歩いてもらいたいですね。



この日は、鶴丸城跡をスタートして天文館までのコース。
1時間の時間設定だが、紹介したいところが多くて時間が足りないほど…

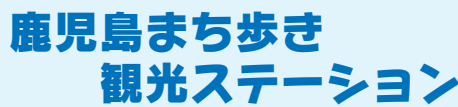
歩道沿いに設置されたガス灯の淡い灯りと城壁のライトアップで夜景散策も楽しめます



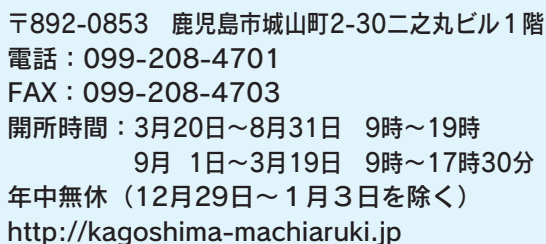
薩摩義士碑前で土・日曜日・祝日など観光案内をしています。

鹿児島の人々も時々来られます。この近くには多くの人に鹿児島の歴史の発見





西郷隆盛銅像の
すぐ隣



また、かごしまボランティアガイドと巡る「鹿児島ぶらりまち歩き」を22コースで実施。観光客に限らず誰でも参加できます。あなたもボランティアガイドの案内を受けながらまち歩きを楽しんで、郷土の歴史を再発見してみませんか。



鹿児島ぶらりまち歩き

- ・ 電話かFAX、ホームページで事前予約が必要です
- ・ 参加料 1人500円(高校生以上)
※中学生以下は無料
- ・ 申し込みなど詳しくは鹿児島まち歩き観光ステーションへお問い合わせください



- ・電話かFAX、ホームページで事前予約が必要です
- ・参加料 1人500円(高校生以上)
※中学生以下は無料
- ・申し込みなど詳しくは鹿児島まち歩き観光ステーションへお問い合わせください

「歴史と文化の道」を歩いてみると今まで知らなかった薩摩の歴史に触れることがあります。皆さんも「市民フォト鹿児島」に掲載された写真を実際に自分の目で確かめてみませんか？思わぬ発見をされることでしょう。

取材を通して鹿児島島の魅力を再発見することができてよかったです。(木佐貴)



「鹿児島ぶらりまち歩き」を体験しました。ボランティアガイドの皆さんの楽しくて詳しい語り、いつの間にか当時にタイムスリップしたような気分でした。

鹿児島の歴史の玉手箱のようにたくさん話があふれている歴史街道。もっともって歩いてみたいと思いました。(瀬戸口)



市立美術館には「これ本物ですね?」と聞きたくなるような貴重な作品がたくさん。作品に残る筆の跡に、作者の思いやパワーを感じることができました。

そんな作品を守るための
ご苦労や演出方法を取材さ
せていただき、文化・芸術の
尊さを感じる時間になりました。

文化貢献してきた鹿児島の
先人たちは鹿児島の誇り
ですね!!(石川)

